

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、2022年第49週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

方法等

対象期間

令和4年 第49週分 [12月6日～12月12日公表分](#)

症例定義

富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」において
上記期間に富山県内で報告された症例
→ **8,836例**

情報源

富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」より、次の情報をまとめた

- 流行曲線、実効再生産数（Rt）、年代分布、年代別報告数の推移 等

図1. COVID-19流行曲線（富山県）

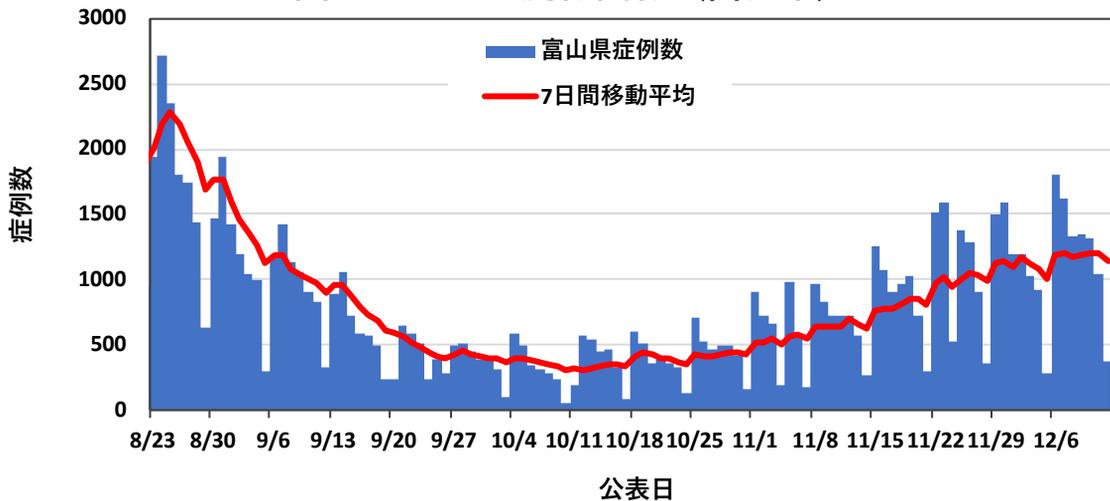
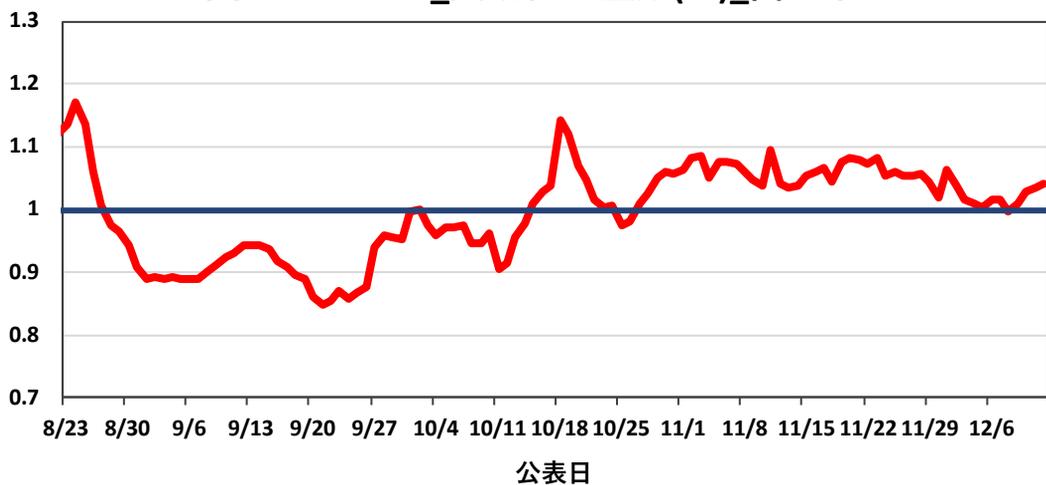


図2. COVID-19_実効再生産数(Rt)_富山県



$Rt = (\text{直近7日間の新規感染者数} / \text{その前7日間の新規感染者数})^{\text{平均世代時間} / \text{報告間隔}}$
平均世代時間 = 2日、報告間隔 = 7日 で算出。

図3. COVID-19年代分布（富山県、49週）

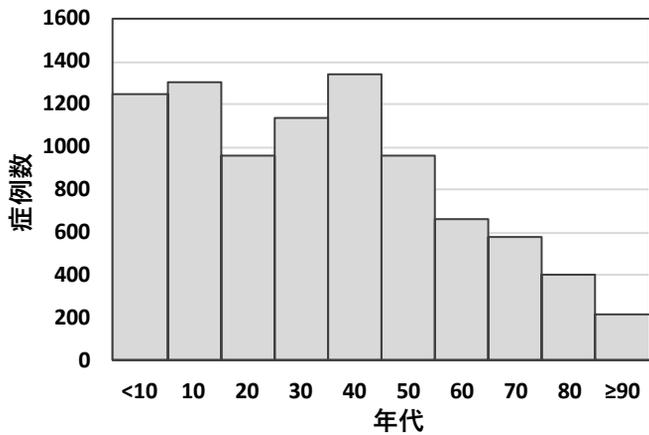


図4. COVID-19年代別割合（富山県、49週）

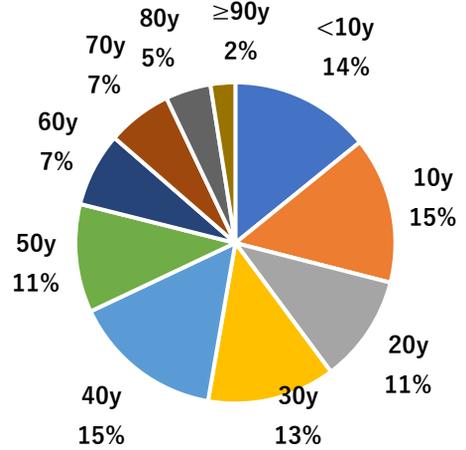


図5. 年代別報告数の推移（富山県）

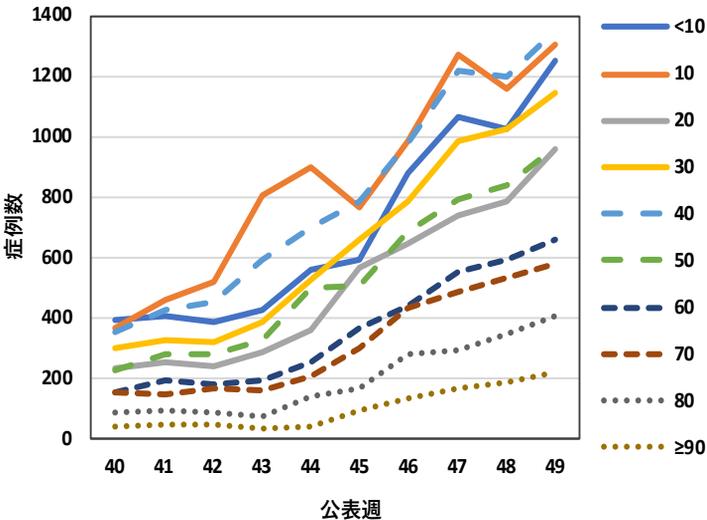
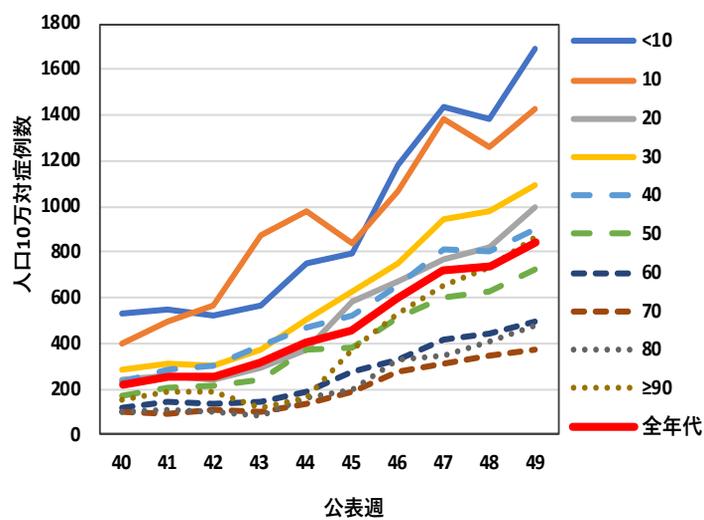


図6. 年代別報告数の推移（富山県、対人口10万）



12月12日時点での所見と評価

- 第49週の新規報告数は、8,836例。先週（7,693例）より増加した（図1）
- 実効再生産数（図2）は、今週上昇傾向であった。1.00~1.04の間で推移しており、12/12時点で1.04。
- 第49週に報告された症例の年代分布（図3：ヒストグラム、図4：円グラフ）を示す。40歳代と10歳代が最も多く15%を占めた。次いで10歳未満、30歳代の順に症例数が多い状況。60歳以上の年代は21%を占めており、先週（22%）からやや減少した。
- 年代別報告数の推移を図5、年代別人口当たり報告数の推移を図6に示す。10歳未満（青実線）、10歳代（橙実線）は先週やや減少していたが、今週は再び増加に転じている。他の全ての年代で増加傾向となっている。